

表. 神奈川県産トンボ類レッドデータ度一覧

科・種名	RD度	現状・衰退原因
イトトンボ科		
モートンイトトンボ	危惧E	休耕田の増加で分布を拡大。乾燥化・埋め立てで減少
ヒヌマイトトンボ	危惧D	河川改修で鶴見川では絶滅。現在多摩川では健在
ホソミイトトンボ	絶滅A?	1例のみ、偶産?不明種
キイトトンボ	減少G	埋め立て・汚染の進行
ベニイトトンボ	危惧D	1994年横浜市大道小で長期発生。移入種の可能性あり
アオモンイトトンボ	健在K	
アジイトトンボ	健在L	
クロイトトンボ	健在L	
ムスジイトトンボ	危惧D	水質悪化?
オオイトトンボ	健在I	
セスジイトトンボ	健在J	
オオセスジイトトンボ	絶滅A	池のつり堀化
モノサシトンボ科		
モノサシトンボ	減少G	汚染の進行?, 池の埋め立て
オオモノサシトンボ	絶滅A	池のつり堀化
アオイトトンボ科		
アオイトトンボ	減少G	池の埋め立てにより減少
オオアオイトトンボ	健在L	
オツネイトトンボ	健在J	
ホソミオツネイトトンボ	健在K	
カワトンボ科		
アオハダトンボ	危惧D	水質悪化, 護岸工事
ハグロトンボ	減少H	水質悪化, 護岸工事
ミヤマカワトンボ	健在J	
カワトンボ	減少H	丘陵地では絶滅した産地が多い。大規模開発
ムカシトンボ科		
ムカシトンボ	健在J	林道工事で影響あり
ムカシヤンマ科		
ムカシヤンマ	危惧D	現在確実な産地は相模湖町のみ
サナエトンボ科		
ミヤマサナエ	健在J	
ホンサナエ	危惧D	芦ノ湖, 相模湖町では健在
ヤマサナエ	減少H	丘陵地の開発, 汚染
キイロサナエ	絶滅C?	1985年以降の記録なし。除草剤?, 汚染, 護岸
アオサナエ	危惧D	現在確実な産地は芦ノ湖のみ
オナガサナエ	減少G	水質汚染, 護岸工事
コサナエ	危惧F	現存は逗子市(多産)と厚木市のみ。池の埋め立てと水質悪化
ダビドサナエ	健在K	
クロサナエ	健在I	
ヒメクロサナエ	健在I	
ヒメサナエ	健在I	
オジロサナエ	健在J	
コオニヤンマ	健在J	
ウチワヤンマ	減少G	水質汚染
オニヤンマ科		
オニヤンマ	健在L	

表. 神奈川県産トンボ類レッドデータ度一覧(2)

科・種名	RD度	現状・衰退原因
ヤンマ科		
サラサヤンマ	危惧D	現在確実なのは三浦市小網代のみ。ただし個体数は激減
コシボソヤンマ	減少G	水質汚染, 護岸
ミルンヤンマ	健在J	
アオヤンマ	絶滅B?	80年代以降の記録なし
ネアカヨシヤンマ	危惧D	93年は確認, 94年は未確認。発生不安定
カトリヤンマ	減少H	水田の農業形態の変化
ヤブヤンマ	健在K	
ルリボシヤンマ	健在I	
オオルリボシヤンマ	危惧D	もともと稀少, 確実なのは相模湖町のみ
マルタンヤンマ	健在J	
ギンヤンマ	減少H	農薬, 汚染。減少の度合いは激しい
クロスジギンヤンマ	健在K	
オオギンヤンマ	迷入M	
ヤマトンボ科		
コヤマトンボ	減少H	汚染, 護岸, 流路の直線化
オオヤマトンボ	健在K	
トラフトンボ	絶滅A	戦前の横浜市のみ
オオトラフトンボ	危惧D	芦ノ湖で1994年に1例発見。現状は不明
ハネピロエソトンボ	危惧D	茅ヶ崎市では94年に確認。発生は不安定, 2年おき?
タカネトンボ	健在J	
トンボ科		
ハラピロトンボ	健在K	
シオカラトンボ	健在L	
シオヤトンボ	健在K	
オオシオカラトンボ	健在L	
ショウジョウトンボ	健在K	
ヨツボシトンボ	健在I	
ベッコウトンボ	絶滅A	戦前の横浜市のみ。池の汚染, 護岸工事
コフキトンボ	減少G	池の汚染?, 個体数の減少が著しい
アキアカネ	健在L	
ナツアカネ	健在K	
マユタテアカネ	健在K	
マイコアカネ	危惧D?	最近の記録は三浦市と相模原市のみ。県内では確実な産地はない
ヒメアカネ	健在K	
ミヤマアカネ	健在J	
ノシメトンボ	健在K	秋には移動が激しい
コノシメトンボ	健在J	県北では多産
リスアカネ	健在J	
キトンボ	危惧E?	近年減少した模様, 今後も要調査
オオキトンボ	絶滅A?	90年代の記録はない。発生は一時的だった可能性もあり
ネキトンボ	健在K	
コシアキトンボ	健在L	
アメイロトンボ	迷入M	
チョウトンボ	危惧D	厚木市の1か所には多産。他の産地は発生が不安定。池の埋め立てや水質汚染
ハネピロトンボ	迷入M	
ウスバキトンボ	健在L	